中央非常通信協議会による第26回表彰の概要

別紙1

被表彰者	功績の概要
• 南富良野町	台風第10号による災害においては、放送事業者の中継局の商用電源断による停波が発生したが、土砂で流出した同局までの道路の代替路確保等に尽力し、停波時間を最小限にとどめ、住民への情報提供手段の確保に貢献。
• 日本放送協会 盛岡放送局	台風第10号による停電が発生した際、非常時の通信を確保し、災害関連放送を継続して実施したほか、避難所にラジオを無料配布する等の避難所対応や共同受信施設の障害復旧対応等を迅速かつ的確に実施することにより、災害情報や被災者支援情報を被災者に提供し、地域住民の安心・安全の確保に貢献。
• 株式会社アイシーエス	災害時において県、市町村、関係機関で情報共有を図りながら、災害対策を実施することが可能となる災害情報システムを開発。台風第10号による災害においては、同システムを利用することにより岩手県内の関係機関間の円滑な情報共有を実現し、適切な災害対応に貢献。
• 株式会社フジテレビジョン	熊本地震災害において、避難所等にテレビ視聴環境を無償で整備することにより、災害情報や被災者支援情報を被災者に迅速に提供することを可能とし、情報孤立回避等に貢献。
• 四国地方非常通信訓練プロジェクト	四国非常通信協議会構成員以外の防災関係機関、ICTベンダーへ訓練参加を積極的に声がけするとともに、四国4県と中国5県との間で衛星可搬局等を使用した情報伝達訓練を実施するなど広域な通信訓練を行い、非常災害時の通信の確保に向けた体制強化に貢献。

中央非常通信協議会による第26回表彰の概要

被表彰者	功績の概要
• 九州管区警察局熊本 県情報通信部機動警 察通信隊	熊本地震災害において、発災後、直ちに機動警察通信隊を被災市町村へ派遣し、被害状況や警察部隊による救助活動状況の撮影映像を関係機関へ伝送し、災害対策活動に貢献。
• 国土交通省九州地方 整備局TEC-FORC E	熊本地震災害において、TEC-FORCEを派遣し被災自治体との通信体制を確保したほか、被災状況等の映像伝送を行い、災害対策活動に貢献。
• 株式会社NTTドコモ 九州支社	熊本地震災害において、熊本県及び被災市町村へ多数の通信機器を無償提供。災害対策本部等における災害情報の収集伝達や避難所との情報連絡等に活用され、非常時の通信確保に貢献。
• KDDI株式会社 九州総支社	熊本地震災害において、熊本県及び被災市町村へ多数の通信機器を無償提供。災害対策本部等における災害情報の収集伝達や避難所との情報連絡等に活用され、非常時の通信確保に貢献。
• ソフトバンク株式会社 九州技術部	熊本地震災害において、熊本県及び被災市町村へ多数の通信機器を無償提供。災害対策本部等における災害情報の収集伝達や避難所との情報連絡等に活用され、非常時の通信確保に貢献。
• 西日本電信電話株式 会社熊本支店	熊本地震災害において、通信設備等を早期復旧し、情報通信基盤の確保に貢献。また、熊本県及び被災市町村へ無償提供した多数の通信機器が災害対策本部等における災害情報の収集伝達や避難所との情報連絡等に活用され、非常時の通信確保に貢献。
• 九州電力株式会社 熊本配電センター	熊本地震災害において大規模停電が発生した際、自社所有の発電機車に加え、全国の電力会社から派遣された発電機車計150台程度を投入して早期に停電を解消し、通信復旧に貢献。